

被災地への全国からの 応援職員を紹介します

平成28年11月

- ①氏名 ②派遣元団体 ③所属課(業務内容)
④派遣期間 ⑤自己紹介

福島市

①渡邊 泰生 (わたなべ やすお)

②福井県福井市役所

③農政部農業振興室(樹園地等の除染の設計・監督)

④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

⑤20年程前に東北に住んでいたこともあり、東日本大震災は私にとっても大きなショックを受けた出来事でした。微力でも自分に出来ることをと思い、このたび派遣を志願しました。

福島は雄大な自然を望むことができ、人の温かさが心に沁みる素敵なおところだと日々癒されながら過ごしています。

福島のフルーツ生産者の安全はもとより、日本全国・世界中の人が安心して福島産を選んでいただけるよう、その一助となれればと思っています。

プライベートでは限りある時間の中で、福島で多くのものを見て、多くの人と出会えればと思っています。



いわき市

①奥田 仁郎 (おくだ よしろう)

②福島県

③総合政策部 除染対策課 除染第一係

④平成28年4月1日～平成29年3月31日

⑤私は長い間、まちづくりをやってきました。前々職のとき震災復興を担当したことがきっかけで、福島県で仕事をする

ことを決意し、市民の安全安心確保のために頑張っております。福島県は海あり、山あり、歴史ありで、ぜひ名所を訪ねたり、磐梯山、燧岳など山登りをしたいと思っています。

「おみゃ～さん、な～に言っとりゃ～す。」という言語環境で育ちましたが、今は福島県にすっかり馴染んでおります。



①小澤 俊則 (こざわ としのり)

②愛知県稲沢市

③都市復興推進課 (小名浜港背後地の区画整理事業の監督業務)

④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

⑤派遣の動機としては、愛知県は、東海・東南海・南海地震が

今にも起こると、言われ続けており、東日本大震災の被災地域が他人事ではないと思いつけておりました。そこで、純粋に被災地域の応援をしたい気持ちと、今後自分の市が被災を受けた時に、被災地域での行政経験が活かせる思い応募しました。

いわき市に来て、5年以上の歳月が過ぎてなお、震災の爪痕が残っており、元の街に戻すことは、並大抵の事ではないと痛感しております。

①水野 唯行 (みずの ただゆき)

②福島県

③勿来区画整理事務所 (震災復興区画整理業務全般)

④平成28年4月2日～平成29年3月31日まで

⑤福島第一原子力発電所の災害を目にし、故郷に帰れない

住民のことを思い派遣を希望いたしました。派遣先のいわき市には、帰還困難区域等はなく、どちらかと言えば、住民の受け入れ先になっております。休日は福島の温泉、新鮮な食など満喫しております。1日も早い復興のため、過去の経験を活かし、微力ですが頑張りたいと考えております。



相 馬 市

①宮口 利則（みやぐち としのり）

②東京都足立区

③建設部建築課（施設の復旧等）

④平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤赴任した当初は「協力したい」「手助けしたい」という気持ちが強く、独りよがりだったかもしれません。

今は「中心に相馬の方たちがいて、その同心円のどこかに私がいる」と考えています。

中心に近いこともあれば遠いこともあります。そこで自分にできることを具体的に考え、『相馬の方たちと、一緒に前に進む力を分かち合うこと』が支援ではないかと思っています。



①山田 正史（やまだ まさし）

②東京都足立区

③都市整備課都市計画係（都市計画法令関連業務）

④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤震災報道を目にするたびに、何か役に立てることはないかという想いを持っていました。

そんな中、派遣の話があり手を挙げました。

相馬の春先は少し肌寒いですが、その分夏は過ごし易く、なにより水と空気のおいしい自然豊かなまちです。

職場の皆さんは、震災後から続く復興の道のりを、市民の皆様と共に、力強く進んでいると感じました。私も、まちづくりの一助となれるよう頑張ります。

①岡山 守男（おかやま もりお）

②新潟県三条市

③土木課土木係（工事管理）

④平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤相馬市へ 2 年間派遣職員として参りました。

相馬市では充実した日々を過ごすことが出来ています。

仕事の方は復興道路に携わっており、少しずつですが

完成に向かっております。これからも、相馬市の復興が着実に進むよう頑張ります。



①小林 佑輔（こばやし ゆうすけ）

②新潟県三条市

③土木課土木係（復興道路用地買収事務）

④平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤派遣職員として 2 年目になります。職場の環境はとても雰囲気良く、快適に仕事をさせていただいております。

私生活では趣味の野球やバレーボールを通じて相馬市民の方とも交流ができ、大変良い思い出と仲間ができました。

きっかけは東日本大震災という悲しいものでしたが、今回の相馬市とのご縁を無駄にすることなく、三条市に戻ってからも相馬市、福島県に思いを寄せ、交流を続けていけたらと思います。



①西澤 信地（にしざわ しんじ）

②東京都稲城市

③土木課土木係（復興道路工事現場監督等）

④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤小、中学の時に仙台で暮らしていたこともあり、

市からの派遣伺いの時に、何か縁みたいなものを感じて志願しました。

東北には懐かしさを感じ、生活は単身赴任の寂しさを除けば普通に馴染んでおります。

仕事はいろいろと課題やハプニングなどが多く苦慮していますが、相馬市職員やいろいろな方に助けてもらって何とかやっています。

やってみたいことはないですが、10 月から新庁舎に移り、3 度目の職場に来たかのような？、自分が何故ここに居るのだろうか？という、まるで異次元の世界にいるような経験を感じている今日この頃です。とにかく頑張りますので、よろしくお願いいたします。

飯 舘 村

①石原 清和（いしはら きよかず）

②群馬県高崎市

③飯野支所生活支援係

④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤飯舘村は他の震災被害と異なり、放射線への誤解や無理解のなか民生の基盤から再建する仕事。少しでもお役に立ちたいと思いました。職場はチームワークが素晴らしいです。

福島県は新鮮な野菜が豊富、特にアスパラガスに感動しました。また季節の果実も豊富でとても美味しい。周辺の町は味わいのある古い建物が数多く街歩きが楽しい。建物は街の顔です。交流人口を増やす資源に活用できると思います。



広野町

①今西 岳晴（いまにし たける）

②岐阜県岐阜市

③環境防災課（消防防災、被災者支援業務）

④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

⑤広野町では消防防災、被災者支援業務を担当しております。町民の皆さんとお話をする機会が多いため、震災当時の状況や震災後の苦労を伺うことができ、大変貴重な経験をさせていただいています。また、派遣職員だと気がつかれると、ねぎらいの声をかけていただきます。町民の皆さんの心遣いに感動し、仕事へのやりがいにもつながっています。

町民の皆さんの「幸せな帰町」を実現できるよう、今後も努力をしていきます。



①陶山 隼人（すやま はやと）

②復興庁

③総務課（財政管財係）

④平成26年8月1日～平成29年3月31日まで

⑤東日本大震災の復興支援のために復興支援員として

被災地自治体支援業務に従事しています。被害を受けた地域の早期復旧・復興支援に少しでも関わりたいと思い、福島復興の現場での常駐を志望しました。

主に財政管財系の業務を担当しています。その他にも町内で開催されるイベントや企画の業務もあります。東日本大震災から5年の年月が経過していますが、様々な取り組みや各種イベント等を通じて、復興の進展を直に実感しています。

①名代 誠（なしろまこと）

②神奈川県

③建設課（道路及び水路の整備・維持管理）

④平成27年4月2日～平成32年3月31日まで

⑤平成23年9月に前職を退職し、福島県の任期付職員に合格しましたが、住まいが見つからず環境省に就職しました。

環境省では関東地方の除染に携わっていましたが、除染は終了したため、3年前の約束を果たすべく、神奈川県の採用試験に応募しました。

広野町は皆さん親切で暖かく迎えていただけてとても働きやすい職場です。

広野町は福島の復興の先陣を担っていますが、広野町に限らず広く双葉郡、福島の復興に貢献したいです。



南相馬市



①阿部 圭太 (あべ けいた)

②新潟県小千谷市

③税務課 資産税係

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤新潟県小千谷市から派遣職員としてお世話になっています。業務内容は、固定資産税賦課のための家屋評価業務と償却資産を担当しています。南相馬市では、新築家屋棟数が震災前の数倍にもなり、家屋評価のため毎日新築家屋におじゃましています。

職場の雰囲気も良く、地元職員の皆さんや派遣職員の皆さんと日々楽しく過ごしています。

最後に、南相馬市の復興・発展に寄与できるよう微力ではありますが、精一杯頑張りたいと思います。



①服部 唯志 (はっとり ただし)

②神奈川県

③農林整備課ため池除染担当係

④平成 27 年 7 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤私は、神奈川県大和市在住の服部と申します。

派遣先は南相馬市のため池除染担当係で、ため池の調査

・台帳作成・地元への説明会を経て秋以降除染作業を実施します。ため池の数は、個人ため池を含めて 598 か所あり、その中で除染対象となるのは 283 か所あります。今年の秋から始めても数年はかかり、先の長い事業となりそうです。

福島県は果物が豊富であり、また休日には温泉・観光地等へ足を延ばして東北生活を楽しんでおります。

①原 浩之 (はら ひろゆき)

②東京都杉並区

③建設部都市計画課

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤私は今年度より杉並区から派遣され、建設部都市計画課に着任いたしました。

防災移転促進事業に関する工事・委託業務を担当しております。

震災から 5 年経過し、南相馬市としての防災集団移転促進事業は終盤を迎えております。

平日は復興事業に携わり、余力のある休日は福島県を中心に東北地方の観光を行っております。着任からまだ五か月あまりではありますが、公私ともに貴重な経験をさせていただいております。



①古屋 正治 (ふるやしろうじ)

②東京都青梅市

③都市計画課 (開発行為の相談、許可事務等)

④平成27年4月1日～平成29年3月31日まで

⑤私は青梅市を定年退職後に再任用職員として南相馬市へ災害派遣で来ております。動機としては、被災地支援のボランティアを行うなか、退職後少しでも今までの経験で復興の支援が出来ればと思いであります。職場の雰囲気は、若い職員から私のような再任用職員までおり大変バラエティにとんでおり、明るく活気があります。仕事につきましては復興の作業員さんの宿舍整備、住宅地整備及び復興工業団地等の開発協議を担当しており、今まで経験のない大規模な事業を行う中自分自身のレベルアップに繋がっております。派遣期間が1年半を過ぎる中、被災地の復興状況を見るなかにおいて、確実な復興を進めるうえで派遣職員の重要性を感じております。



①杉岡 一宏 (すぎおか かずひろ)

②静岡県島田市

③財政課 (契約担当)

④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

⑤当時高校生で衝撃を受けたが何もできなかった阪神

淡路大震災、そして16年が経過して起きた東日本大震災。市役所の職員となった自分が少しでも被災地で出来るのではないかと思い派遣を希望しました。

震災後5年が経過して、目まぐるしく世の中は変化して復興に向けて確実に歩んできたと感じる反面、ここにはまだ前を向けない人達があります。

行政という立場での仕事をするだけでなく、私生活でもその人達が前を向くきっかけを作るためのお手伝いが今後できればと思います。

富岡町

①内山 正和 (うちやま まさかず)

②新潟県柏崎市

③住民課国保年金係

④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

⑤中越沖地震で支援をいただいたこともあり、柏崎市が福島へ職員を派遣した時から気になっていて、定年を機に福島に来ることを決意しました。微力ですが役に立ちたいと思っています。

富岡町役場で働かせてもらい、色々な相違に戸惑いもありますが、良いサービスを提供しようとする意気込みを感じます。町役場は、以前のような富岡での暮らしを。県は観光や食文化の発信に力を入れ、被災前以上にしたいという思いが伝わってきます。



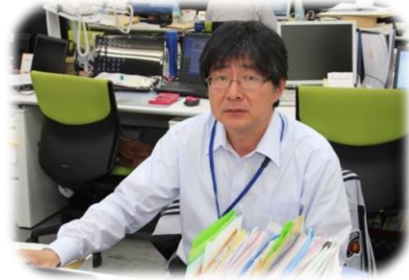
①市野 勝久 (いちの かつひさ)

②東京都品川区

③健康福祉課 (身体障がい者の福祉関係)

④平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

⑤私はあと数年で定年を迎えますが、公務員人生の集大成 (少しオーバー?) として派遣を希望しました。



現在の担当は今まで経験のないものですが、職場の雰囲気はとても良く、仕事・私生活の両面においてサポートをいただき、安心して、そして何よりも楽しく毎日過ごすことができます。

町は復興に向け、帰町というあらたなステージを迎えています。微力ながらお手伝いさせていただくこの経験を派遣元 (品川区) に持ち帰り、有意義なものにしたいと考えています。

浪江町

①八巻 京子 (やまき きょうこ)

②福島県

③介護福祉課

④平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤長年勤務した事業所を定年退職し、福島の復興に自分の持つ資格が役に立つことがあればと思い入職しました。福島は故郷ですので大切な心の場所です。家族は避難を余儀なくされ遠い西日本に住まいしています。子供の進学が次々あり戻れない環境になっています。



業務内容は一般介護予防事業など、ご高齢者への行政的支援です。介護保健関係や生活支援などの総合相談や他機関調整、権利擁護、独居高齢者や認知症などの困難事業を担当しています。

一般介護予防事業では、住民主体の「介護予防体操」又福島大学災害ボランティアセンターが企画した復興庁こころの復興事業、学生ボランティアが、仮設住宅に入居し、仮設入居住民とに寄り添い共に生活し、寄り添う「いるだけ支援」の行政側担当など、充実した日々を送っています。職場も、上司、同僚からの声掛けや、困り事への相談・助言など働きやすい環境に配慮いただいております。感謝しています。健康に留意し、任期を全うすべく精進したいと考えています。浪江町「うけどん」を紹介します。



①佐藤 和憲 (さとう かずのり)

②福島県

③まちづくり整備課 (道路、橋の復旧)

④平成 25 年 5 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日まで

⑤復旧復興に少しでもお手伝いできる所があればと

ということで応募しました。放射線の関係で立ち上がり、だいぶ遅れた感がありました。最近、復旧・復興が少しずつ目に見える状況になってきました。みんなの思いと力を結集して、アンケートでの帰町希望より、多くの方が戻ってきたくような浪江町が再生することを願っています。

新 地 町

- ①林田 淳一郎（はやしだ じゅんいちろう）
- ②長崎県諫早市
- ③建設課（下水道担当）
- ④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで
- ⑤長崎県諫早市から新地町へ派遣で来ました林田です。



諫早市から新地町への下水道担当職員の派遣は私で 10 人目となりました。新地町の下水道の復旧については、私の前任者までで全て完了しており、私の業務は各種改良工事等に伴う下水道管の移設業務と下水道処理場等の施設の維持管理を業務として行っております。

私が福島県に来て感じたことは、震災から 5 年が経ち、施設の復旧自体は終わっていますが、沿岸部の工事等は、まだまだこれからと言った所だなと感じました。私が新地町に来て半年が経ちますが、日に日に事業は進んでいることを実感しますが、まだまだやらなければいけないことが多く、震災の爪痕の深さを感じました。

派遣先の職場は、職員の皆さんがとてもフレンドリーで、派遣されて日が浅かった時期にも直ぐに打ち解けることができ、一緒にフットサル大会に出場したり旅行に行ったりと、とても居心地がいい環境で仕事をさせて頂いてます。

派遣期間も折り返しとなり、残す業務をきっちりと終わらせて次に繋がるような仕事を行って業務を終えたいと思います。



- ①伊藤 喜久男（いとう きくお）
- ②長崎県島原市
- ③建設課 建設係（土木担当）
- ④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで
- ⑤私にできることは限られていますが、新地町の復興の一助となれるよう努めたいと考えています。

新地町にお世話になって数か月たちましたが、当地は、九州出身の私が想像していたより気候が良く、過ごしやすいのには驚いています。

そして、海あり山ありで、人もあたたかく良いところですよ。

また福島県内には、百名山から自然公園、自然遊歩道、自然探勝路などきれいなところがいっぱいありますので、派遣期間中に可能な限りうつくしま福島を歩いてみたいと考えています。

大 熊 町

①五十嵐 久雄（いがらし ひさお）

②福島県喜多方市

③福祉課 福祉係

④平成 28 年 4 月 1 日～

⑤福島県内自治体から初めての派遣職員となり、若輩者ながら同郷の一員として、大熊町の復興、また、福島県の復興のため、自分にできることを模索しながら、甚だ微力ではありますが、日々努めています。

「義に死すとも不義に生きず。」大変温かく迎えて頂いた大熊町の皆々様、また、派遣元へ感謝をしながら、地方公務員の一人として、公益の復興、そして、誇りある郷土の未来のため、自分の務めを果たしていきたいです。



平成 28 年 11 月 発行

編集 福島県総務部市町村行政課

TEL 024-521-7057

FAX 024-521-7904